

ときわの風

発行：常磐大学同窓会
 編集：常磐大学同窓会事務局
 水戸市見和1丁目430-1(常磐大学内)
 電話 029.232.2511(代)

WIND OF TOKIWA

E-mail dosokai@tokiwa.ac.jp

URL http://www.tokiwa.ac.jp/~dosokai/

「学校法人常磐大学 同窓会館 利用案内」(抜粋)

《利用区分》

区分	主な利用者と使用目的例
A	1) 大学・短大・高校・幼稚園・大学院の同窓会の役員会・総会など 2) 卒業生が開催する①クラス会、②ゼミナール会、③各種サークル活動のOB・OG会など
B	1) 在学(校)生の諸活動 2) 教職員(現・元)の諸活動 3) 各学校の後援会やPTAの会合や諸活動
C	同窓会の会員が代表者となる諸活動 注1
D	地域住民の会合や諸活動 注2
E	その他(企業・団体・各種法人)の諸活動 注3

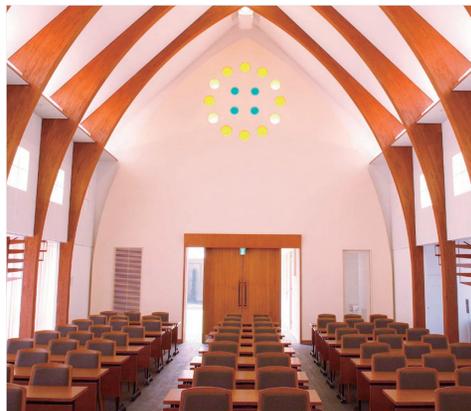
注1：絵画・書道・彫刻などの展覧会、結婚パーティー、その他の活動など
 注2：近隣地域の町内会・老人クラブ・趣味の会・子ども会の集会など
 注3：研修会・勉強会など

《利用に関する一般的諸注意》

- 「会館」利用の予約申込は、使用月の2ヶ月前の1日(休日の場合は翌日)から受け付けます。窓口にお越しください。または電話でお願いします。
- 「会館」の利用時間は、午前9時から午後9時までです。
 なお、休館日は以下のとおりです。ご注意ください。
 (1) 大学の夏季一斉休業期間中(8月中旬の約1週間)
 (2) 大学の冬季一斉休業期間中(12月下旬~1月上旬の約1週間)
 (3) その他、大学が決めた臨時の休館日
- 「会館」の使用料金は、利用区分ごとに異なります。詳しくは卒業生センターまでお問い合わせください。



卒業生と母校をつなぐ場として、二〇〇五年四月に卒業生センターが開設されました。大学・短大・高校の卒業生、並びに大学院の修了者との架け橋



Alumni Association Center

卒業生センター開設！ 卒業生と母校の架け橋に

となるべく、常磐を卒業された皆様への支援を念頭に掲げた様々なサービスが提供される予定です。

まず、卒業生相互の交流を活性化する目的として、二〇〇五年二月に同窓会館が竣工されました(上記「利用案内」参照)。同窓会総会や幹事会などで利用された方も多くかと思えます。また、クラス・サークル・ゼミ等の会合にも利用できます。ぜひ会館で旧交を温めてください。

次に、卒業しても常磐を身近に感じてもらうため、常磐独自のカードの発行が検討されています。図書館やその他法人施設の利用等、様々な特典を付加していく予定です。同窓生にとってのステータスカードになることでしょう。

その他にも、ホームカミングデーの開催といった新しい企画等が検討されています。順次ホームページ(<http://www.tokiwa.ac.jp/~aac/>)に掲載されますので、ご確認ください。

施設紹介

2

「情報メディアセンター」

情報化社会に対応する教育を推進するため、「情報メディアセンター」が新たに設置されました。それに伴い短大と大学に分散していた情報関連の教育施設を一か所に集中させることを最大のコンセプトとして「情報メディアセンター新館」が建てられました。

また別館の図書資料館(旧総合情報センター)や国際交流語学学習センター(旧国際センター)など、双方で、情報提供を行うことができます。「情報メディアセンター新館」では、メディア関連の教育・研究に必要な機材



卒業生センター長 手島 弘之

卒業生の皆さん、こんにちは。皆さんは卒業されてから常磐を振り返ったことがありますか？ 学校法人常磐大学では、卒業生の方へ、同窓会館の原則無料利用等、様々な支援、サービスを検討しています。しかし、皆さんが常磐に対して求めるサービスや情報はたくさんあるのではないのでしょうか？ 気が付いた点、ご意見、ご感想等がありましたら当センターまでお寄せください。卒業生ひとり

【お問い合わせ】
学校法人常磐大学 卒業生センター
 (Alumni Association Center)
 〒310-0036 茨城県水戸市新荘1-7-26
 Tel & Fax : 029-231-8162
 (事務取扱時間：平日9時~17時)
<http://www.tokiwa.ac.jp/~aac/>
 E-mail: aac@tokiwa.ac.jp

ひとりから貴重なご意見をいただき、よりよいサービスを提供できればと思います。更には、母校の発展に寄与していくことでしょうか。
 この辺りで一息、旧友・旧師を懐かしみ、学生時代を過ごした常磐を振り返る時間を共有してみませんか？

卒業生センター長 手島弘之さん(人間科学部10期卒)のお話

2005年度 体育会活動報告(春季)

硬式野球部

部長：波多野 一勝
監督：石川 清一
部員数：五十五名



○関甲新学生野球リーグ(三部中一部)
常磐大学12・0 山梨学院大学
常磐大学5・4 山梨学院大学
常磐大学1・7 上武大学
常磐大学1・9 上武大学
常磐大学2・6 白鷗大学
常磐大学1・6 白鷗大学
常磐大学1・0 関東学園大学
常磐大学17・3 関東学園大学
常磐大学3・7 平成国際大学
常磐大学5・1 平成国際大学

剣道部

部長：上見 幸司
監督：小澤 聡
部員数：男子十五人・女子五人



○男子第五十一回記念関東学生
剣道選手権大会
二回戦敗退

弓道部

部長：佐藤 環
部員数：男子八名・女子十一人



○関東学生弓道選手権大会
春季トーナメント
男子団体 二次予選敗退
個人予選敗退
第三十五回全関東学生
弓道選手権大会
二回戦敗退
男子団体戦
ベスト十六(全八十四チーム中)
女子団体戦(十二射) 予選敗退
男子個人戦
三次予選敗退：
石井優 江藤保之

上記三部以外にも体育会各部活動しております。今後ご期待ください。

最近1年間で、同窓会事務局が把握している情報を掲載しています。みなさまの情報提供をお待ちしています。

ご結婚された方

- | | |
|----------|----------------|
| 熊谷 豪さん | 「人間科学部15期」 |
| 吉田 成利さん | 「国際学部1期」 |
| 柏田 淵一さん | 「コミュニティ振興学部1期」 |
| 柏田 淵恭子さん | 「コミュニティ振興学部1期」 |
| (旧姓 平塚) | |
| 松田 憲治さん | 「コミュニティ振興学部2期」 |



MESSAGE

大学横の川に鮭が遡上した

卒業生の皆さんお元気ですか？
開学から二十二年、一学部二学科、教員二十四名でスタートした大学は、いまでは三学部、三研究科(大学院)になり、情報メディアセンターをはじめ、五つのセンターが雨後の竹の子のように出来ました。最近では、中学校を開校すると云う話もあります。

組織が大きく、盤石になるにしたがって、開学時からおられた教員は数人が残るだけで、ほとんどが新しい教職員に変わりました。一つの組織の寿命は約二十年と云う話を聞いたことがあります。その話が本当であるなら組織や教職員が新しくなるのは、理にかなっています。一抹の寂しさを感じる今日この頃であります。

卒業生が集まってきて、一気に、当時の記憶がよみがえります。社長業の人、部下を十二、三人従えてバリバリ仕事をしている人、子育てに専念している人、コンサルタント業や花屋などを起業して独立している人、作家活動をしている人等々、卒業生の生きのいい話を聞いて若返った気分になるのは、非常に楽しいことです。

さて開学以来、大学が力を注いでいることの一つに情報化教育があります。二〇〇五年五月に情報メディアセンターがオープンしました。私はセンター長として五年先、十年先を予測しながら、ブロードバンド化とモバイル化を前提にした「ビジネス実践教育」と「情報コーディネータ」の育成に力を入れて頑張っています。また、一兆円産業とも云われているCGアニメーション、グラフィックアート、CM制作、Webデザイン等々の人材の育成をめざしています。さらに、被害者学の大学院では東京芝浦にサテライトキャンパスが開校し、水戸とインターネットで接続して遠隔授業を始めましたが、ここでも、コマ授業を教えています。

も感謝しています。さて開学以来、大学が力を注いでいることの一つに情報化教育があります。二〇〇五年五月に情報メディアセンターがオープンしました。私はセンター長として五年先、十年先を予測しながら、ブロードバンド化とモバイル化を前提にした「ビジネス実践教育」と「情報コーディネータ」の育成に力を入れて頑張っています。また、一兆円産業とも云われているCGアニメーション、グラフィックアート、CM制作、Webデザイン等々の人材の育成をめざしています。さらに、被害者学の大学院では東京芝浦にサテライトキャンパスが開校し、水戸とインターネットで接続して遠隔授業を始めましたが、ここでも、コマ授業を教えています。

二〇〇五年十一月十一日記



人間科学部 教授
被害者学研究科教授
阿部 昌信
北海道大学大学院教育学研究科修士課程修了。
専門：社会工学、行動計量論、情報処理。
日本行動計量学会会員。人間科学部助教授を経て1992年4月より現職。

編集後記

二〇〇六年が明けた。昨年は大学、大学院、短大、高校、幼稚園の各同窓会の連絡機関として連合同窓会が発足し、卒業生と母校をつなぐ場として卒業生センターが新設された。また同窓会館のオープンなど同窓会活動を支援する体制が整備された一年だった。

常磐大学同窓会としては、昨年に会報「ときわの風」を創刊し、こうして二号を皆さまにお届けできて大変嬉しく思う。今年三月には、人間科学部二十期、国際学部七期、コミュニティ振興学部三期の卒業生たちが社会に巣立っていく。常磐大学の卒業生はすでに七〇〇〇名を超え、同窓会会員も五〇〇〇名を超えた。今年も同窓会にとって飛躍の年になるよう努力したいと思う。

【掲載文募集】
同窓会事務局では、会報「ときわの風」に掲載する会員の皆さまからの投稿を募集しています。日々の雑感・近況報告などをお寄せください。(編集の都合上八〇〇字程度でお願いします。)なお、掲載された方には、薄謝ですが、「QUOカード」をお送りいたします。(送付先) 〒三三〇一八五八五 常磐大学同窓会事務局 または、dosokai@tokiwa.ac.jp

学生支援事業報告

2005年ときわ祭開催

「trend」=ときわ祭 ~心の進み行く先は…~

第23回ときわ祭が、2005年10月29日、30日に開催されました。同窓会では、学生支援事業として毎年5万円の資金援助をしています。



今回のテーマは「trend」=ときわ祭~心の進み行く先は…~。ときわ祭に訪れることで現代の流行を体感し、自分の個々の終着点を見出す手助けができる学園祭にしたいという思いが込められているようです。4組のお笑い芸人を招いた「お笑いライブinTOKIWA」や「由美かおる講演会」「マジレンジャーショー」はもちろんのこと、ゼミナールの研究発表、音楽サークルによるライブ、模擬店などにたくさんの人が集まり、2日間で7,138名が訪れる盛況ぶりでした。